



## 社会情勢 / 社会課題

地球温暖化防止に貢献するような、  
クリーンなエネルギー社会の構築。

エネルギー自給率の低い日本にとって、海外からの  
化石燃料依存度を低減し、CO<sub>2</sub>排出削減へつなぐ水  
素エネルギーを用いた新たなエネルギーインフラの構  
築・整備が必要である。

## 長期ビジョン

国内外での 水素製造・貯蔵・  
輸送といった新たなエネルギー  
インフラの整備。

日本での水素関連産業が  
世界市場で活躍。

## 東京大会での役割

環境負荷の低い水素社会に向けた  
日本の可能性を世界へ発信する。

## 3つの手段

## 1 ソーシャルインパクト

水素社会の実証を通じて、  
製造・貯蔵・輸送・利用の  
新たなチェーンモデルを発信。

## 2 大会ホスピタリティ

大会に関連する移動は  
環境負荷の低いエネルギーで賄うなど、  
地球に優しい大会へ。

## 3 シェアードバリュー

日本の水素関連産業の  
国際競争力向上へつなぎ、  
世界市場での優位性の獲得を目指す。

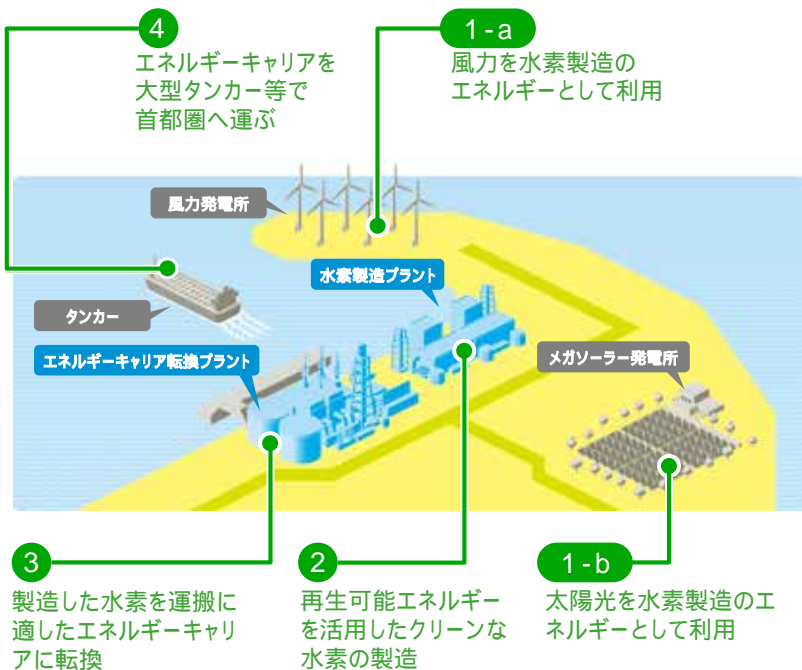
## 2020年に向けたコンセプト

Energy Innovation 2020  
水素エネルギー・システム

水しか排出しない最新エネルギーで、移動・暮らしに次のクリーンを

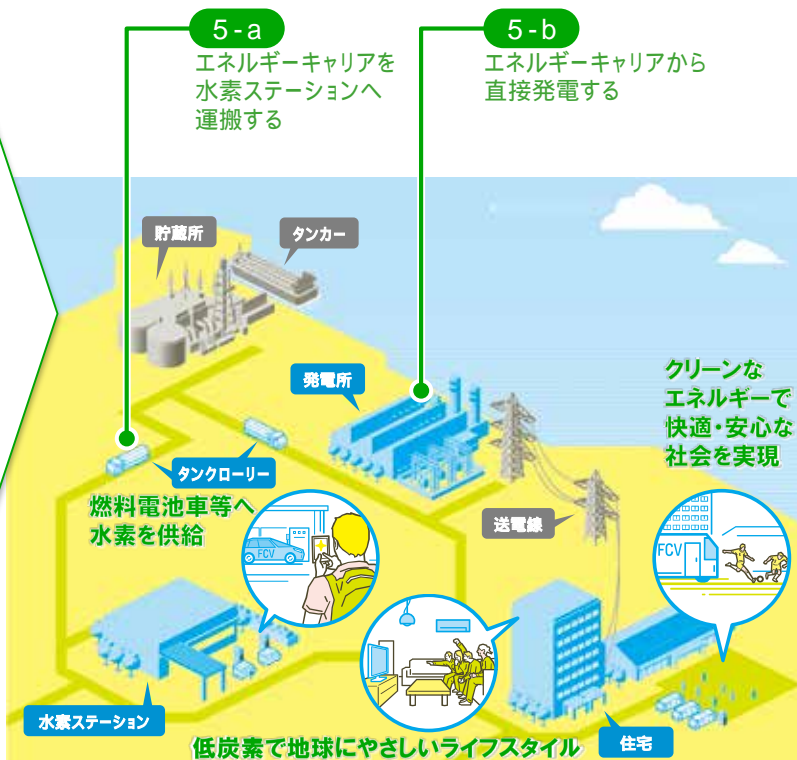
## Scene1 水素製造を担う地域

再生可能エネルギー由来のクリーンな水素を製造し、首都圏へ運搬



## Scene2 水素を利用する首都圏

環境負荷の低い水素社会の実現





## 社会情勢 / 社会課題

超大型台風やゲリラ豪雨など  
極端気象による水土砂災害が  
昨今激化しており、首都圏を始め  
とする大規模水害の襲来が必至  
とされる今、「レジリエント(強靱)  
な社会構築」が急務とされている。

## 長期ビジョン

豪雨・竜巻等事前予測によって、  
極端気象にともなう災害から  
国民の命を護る。

## 東京大会での役割

ゲリラ豪雨等の極端気象に係る  
災害情報を正確かつ時間的な  
余裕をもって提供することで、  
安全な大会運営の実現と  
来訪者の安全な滞在を確保する。

## 3つの手段

**1** ソーシャルインパクト  
自然災害に対する万全の備え  
をもって望む安全・安心な  
大会姿勢を世界の人びとへ  
強く発信する。

**2** 大会ホスピタリティ  
避難誘導など来訪者の安全確保  
まで徹底した安全・安心ホスピタ  
リティ提供ため、極端気象の予測  
情報を発信する。

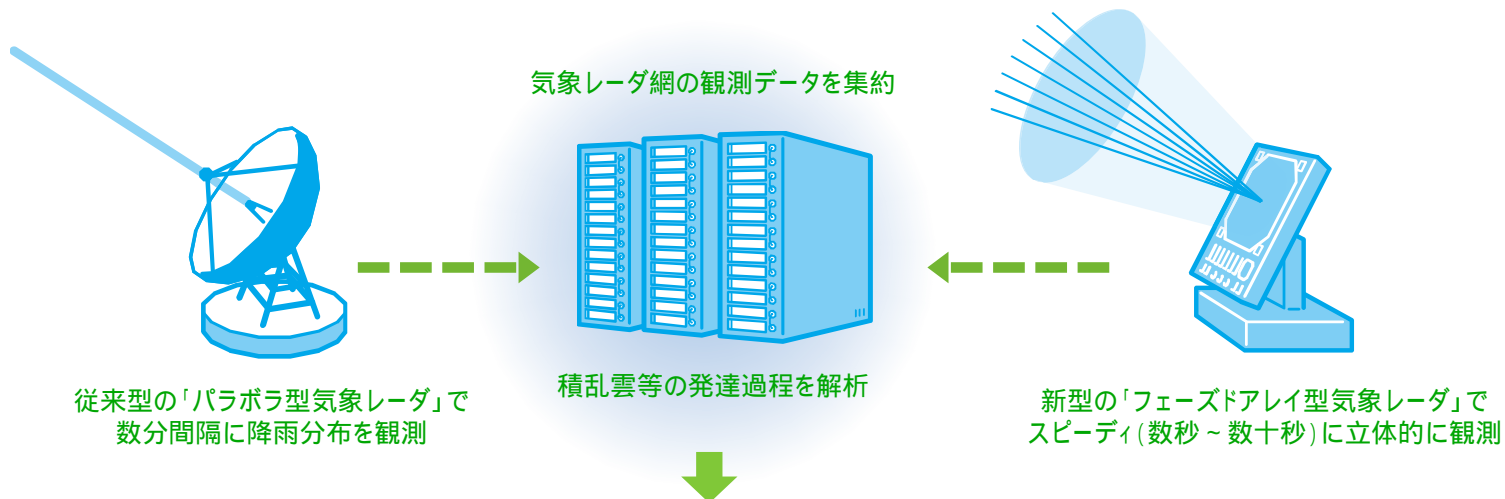
**3** シェアードバリュー  
会場周辺(東京)において実証  
された技術の展開を図り、  
レジリエントな防災・減災を  
強化する。

## 2020年に向けたコンセプト

Weather forecast Innovation 2020  
**ゲリラ豪雨・竜巻事前予測**  
ゲリラ豪雨が降りだす前に、人々へお知らせ

## 技術の概要

新型の気象レーダを組み合わせることでゲリラ豪雨の観測精度を向上



## ゲリラ豪雨発生予測情報の提供

### 競技者や観戦者への情報提供



### 交通機関への情報提供



### 施設管理者への情報提供





## 社会情勢 / 社会課題

知識社会・情報化社会及びグローバル化の爆発的に進展する中、我が国においても科学技術をスマート化やシステム化など分野横断的に取り組み、世界に先んじたイノベーションを創出する必要がある。

## 長期ビジョン

新たな価値を提供するための「サイバーフィジカルシステム」プラットフォームの確立。

各種センサによる実世界モニタリングにより取得されたビッグデータを用いた「サイバーフィジカルシステム」を確立し、効率的・省エネなまちづくり、人材活用や物流の効率化によるサービス等の品質向上、災害時の安全な避難誘導やテロ対策等により、世界に先んじた社会システム効率化、新産業の創出、安全・安心の確保等を実現する。

## 東京大会での役割

人や物のセンシング、モニタリングから得られた情報について、ネットワーク化・ビッグデータ解析を行い、人や物の流動を効率的なものとして、大会において安全・安心を実現するとともに、快適な「おもてなし」を実現する。

## 3つの手段

## 1 ソーシャルインパクト

科学技術による万全な安全対策および混雑解消と、従来にみられない大会運営サービスの仕組み。

## 2 大会ホスピタリティ

選手、観客、来訪者など、安全・安心は絶対条件。さらに、観客などがストレスもなく、感動するサービスの提供。

## 3 シェアードバリュー

安全・安心なまちづくりや人が流れやすい都市構造などの知見を持って、地域活性、地域のまちづくりに反映。

## 2020年に向けたコンセプト

Big data & Sensing Innovation 2020

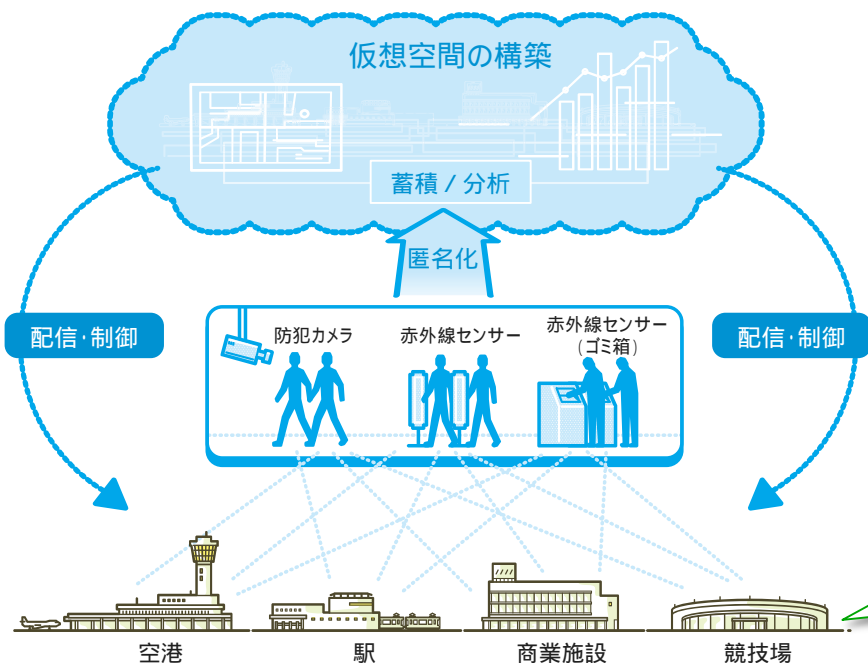
## 移動最適化システム

ビッグデータでヒトの流れをスムーズにし、安全で快適なおもてなしを

人や物のセンシングから得られた情報について、ネットワーク化・ビッグデータ解析を行い、大会において安全・安心を実現するとともに快適な「おもてなし」を実現する

## 技術の概要

「サイバーフィジカルシステム」は都市の人や物の動きを収集・解析することで、実世界の効率化や新たな価値創造に貢献します。



センシング情報をもとにした実世界における大会運営の安心・安全や快適なおもてなしが以下のような場所で提供されます。

### Scene1 国際空港 / 公共交通機関

けが人・急病人のスピーディな救護

不審な物や人をすぐに発見

障害者の移動を先読みサポート



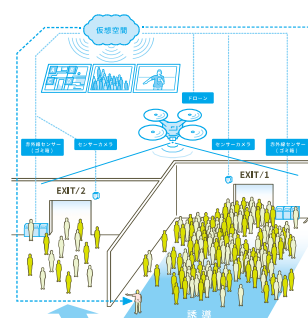
### Scene2 街の中

移動ルートや街のリコメンド情報がわかる



### Scene3 会場周辺

誘導スタッフの最適配置で安全で効率的な大会運営を実現





## 社会情勢 / 社会課題

日本の映像産業は世界でもトップレベルのクオリティで「クールジャパン」の代表として様々な国で支持を集めており、アニメーション、ゲーム、4K/8K映像などをはじめ関連産業全体で発展が見込まれる分野として期待が寄せられている。

## 長期ビジョン

世界を驚かせる日本発の新たな映像技術を創造し、国内関連産業を活性化する。

## 東京大会での役割

大会開催中の観戦者にいっそう大きな驚きと感動を与えるとともに、世界に日本の技術開発力をPRする。

## 3つの手段

## 1 ソーシャルインパクト

日本ならではの強みを活かした世界に先駆けた映像技術やコンテンツの発信。

## 2 大会ホスピタリティ

大会中のイベントや観戦時の演出に活用し、より大きな驚きや感動を生む。

## 3 シェアードバリュー

競技場における感動や興奮を、時や場所を超えて誰もが味わえるようにする。

## 2020年に向けたコンセプト

Global Movie Experience Innovation 2020

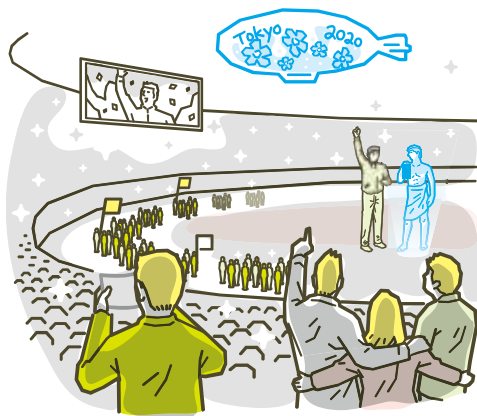
## 新・臨場体験映像システム

臨場感あふれる映像技術が生み出す「ワクワク」を、世界中の人と一緒に

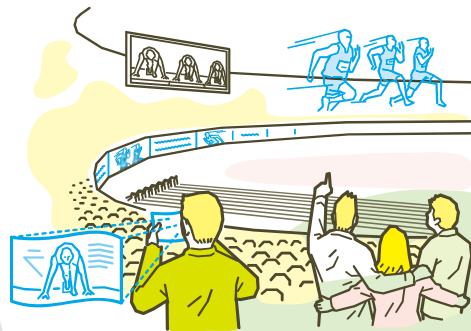
## 展開イメージ

2020オリンピック・パラリンピック東京大会の開閉会式や競技シーンを世界に先駆けた新たな映像技術により演出・配信することで、見る者に驚きと感動を与えとともに、世界に日本の技術力をアピールする

新しい映像技術を組み合わせた  
記憶に残る開閉会式の演出

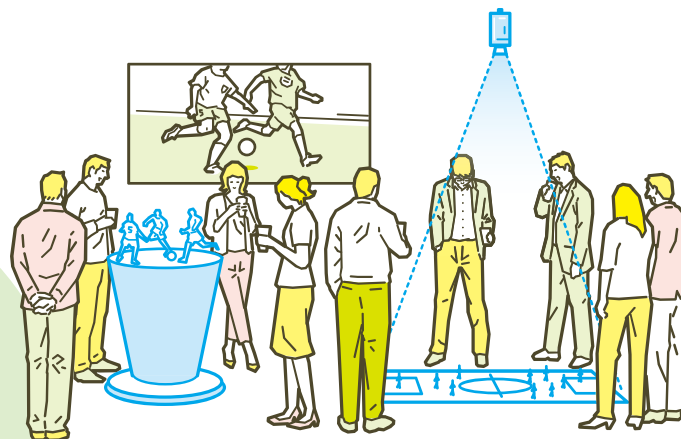


大迫力の立体映像やシートディスプレイで  
新しいスタイルの競技観戦を実現



Scene1 競技会場

競技会場にいなくても  
ユニークで楽しい観戦スタイルが誕生！



Scene2 街の中

チケットを兼ねる電子ペーパーに  
競技状況や選手データを  
タイムリーに配信



ビルにも貼れるシートディスプレイで  
高精細な屋外パブリックビューイングを実現！



大型シートディスプレイを搭載したトラックで  
地方でも大興奮のパブリックビューイング！

